

第6回市民メディア全国交流集会 京都メディアフェス



セッションのタイトル・時間・出演者等は変更になる場合があります。最新の情報は「京都メディアフェス」Webサイトをご覧ください。
www.shiminmedia-kyoto.jp

program 分科会プログラム@元立誠小学校

10:00-10:20 @教室

オープニング

10:30-12:00 @教室

市民活動における「インターネットでの情報発信は有効」は本当か?

メディアコンテスト成果物発表

ネットジェネレーションの著作権と考え方
—著作権とクリエイティブコモンズライセンスを、音楽を通して考える—

京都国際映像人類学・ドキュメンタリー映画祭に向けて

手話と字幕の番組「目で聴くテレビ」

13:00-14:30 @教室

地域SNSと市民メディア—こんなこともできる?

地域とメディアのあり方を考える
—住民メディアセンターとメディアクリエイター育成の周辺問題—地域とマスメディアを繋ぐ構造構築へ向けて

地域の魅力を自分の手で楽しく発信しよう!

13:00-16:30 @教室

韓国キャンドル集会和市民メディアの活躍

13:00-14:30 @教室 (参加料別枠)

【特別企画】SCRAPプロデュース
フリーペーパーって
こうあるべきなんじゃないか会議

創刊5年目の京都の名物フリーペーパー「SCRAP」による特別企画ワークショップ。これまでの蓄積を全部吐き出し、今後のフリーペーパーの可能性を探ります。

前売:1000円 当日:1500円
※京都メディアフェスのバスをお持ちの方は無料でご入場いただけます。

予約・問い合わせ info@scrapmagazine.com

10:00-14:30 @教室

もっと作りたくなる、
ビデオワークショップ

第3部 10:00-ランチタイム

「地域からの発信」

ケーブルテレビ局やインターネット放送を通じて、地域に根ざした活動をしている団体、個人が互いの作品をみながら、ざっくばらんに語り合います。各地の物産を持ち寄って、ランチタイムも続けて開催!

発表者
むさしのみたか市民テレビ局
くびきのみんなのテレビ局
東京視点

ほか

第4部 13:00-14:30

「異なる立場を超える」

※「もっと作りたくなる、ビデオワークショップ」は、むさしのみたか市民テレビ局、映像発信てれ、OurPlanet-TVによる全4部のワークショップです。

10:00-16:30 @教室

もっと作りたくなる、
ビデオワークショップ

第1部 10:30-12:00

「ビデオのお悩み相談室」

第2部 13:00-16:30

「もちよりに上映会」

15:00-17:30 @教室

京都環境メディア宣言

テレビは戦争をどこまで伝えられるか
—従軍慰安婦問題などをめぐって

台湾のメディアは今—'08調査団が語る、そして台湾媒体観察教育基金会の代表団が語る—

13:00-14:30 @講堂

「情報通信法」について考える

総務省が設置した「通信・放送の総合的な法体系に関する研究会」は、2011年の情報通信法公布・施行を目指すべきであったとした最終報告を2007年12月に公表しました。この情報通信法案を今のまま通してしまっても良いのでしょうか? 共に考えましょう!

パネリスト

梅田ひろ子 (NPO・CS障害者放送統一機構理事)

日隅一雄 (弁護士・日弁連広報部会)

渡辺武達 (同志社大学社会学部教授)

司会

原 聡一郎 (横浜市民メディア連絡会事務局長)

FM79.7 京都三条ラジオカフェ スタジオ見学会・生放送現場見学会

日本初のNPO放送局、京都コミュニティ放送(京都三条ラジオカフェ)の人気ラジオ番組の、レポート体験とスタジオ見学会ツアーを開催します。 定員:各チーム10名(計30名)

【A・Bチーム】12:30-14:15「ウォーキングカフェ」レポート体験&スタジオ見学

※30分ごとに交代し、元立誠小学校付近でのレポート体験とスタジオ風景を見学して頂きます。

【Cチーム】14:30-15:30「ひと・まち・てあいもん」スタジオ見学

※先着順/2日または1日バスを購入された方に限らせて頂きます。

見学会の詳細内容/申込は「京都メディアフェス」Webサイトをご覧ください。

10:00-11:30 @教室

ネット・メディアとオープンソースは
刺激しあって今後も発展するのか?

デジタルアーカイブと市民メディア

「キョウトル?」検証報告会

13:00-14:30 @教室

ITと文化—京都の中原中也

子どもと先人から学ぶもの

遊プロジェクト京都・まちづくり研究会

「道はメディアだ!—道の進化論—」

13:00-16:30 @教室

G8洞爺湖サミットで市民メディアは何が
できたか

13:00-18:30 @3F 和室

がんばれコミュニティラジオ
—非営利放送は今—

京都三条ラジオカフェ・町田寿二、カシオペアFM・中田勇司、あまみエフエム・麓憲吾ほか、全国のNPOコミュニティラジオが大集合! 日々の実践報告と情報交換、政策提言、海外の制度紹介の3部にわたるシンポジウムを開催します。

第1部 13:00-14:30

「NPOラジオ局集合 番組の多様性と運営のハードル」

第2部 15:00-16:30

「住民参加の機会を拓く非営利メディア」

第3部 17:00-18:30

「ドイツ・フランスの市民放送の現場から中継権利実現の制度構築」

※【平成20年度科学研究費補助金「基盤研究(B)」「非営利民間放送の持続可能な制度と社会的認知コミュニティ放送のモデルを探る」】活用プログラム

15:00-16:30 @講堂

住民ディレクターTVが
地域を変える、日本を変える

各地の個性的な住民ディレクター活動が、これからどのように進化していくのか、提唱者の岸本晃さんを中心に議論を行います。またその模様は、同時に番組作り体験会とし、一般参加者にも番組作りの魅力を体験していただきます。

主催:京都住民ディレクターチーム・わんど

市民メディア全国交流集会とは、メディア実践者や研究者、行政、企業などの協働により、具体的な実践活動のプレゼンテーションや情報交換などを通して、これからのメディアのありかたを考えるイベントです。国内でも急速に市民メディアが拡大・定着する状況を背景に、2004年から全国各地で開催されてきました。第6回目となる今年のテーマは、『つかう・えらぶ・つくる~十人十メディア時代~』。私達の生きる現代は、ひとりひとりの市民がメディアを使いこなし、必要な情報を選び、そしてつくることも可能になった「十人十色」ならぬ「十人十メディア」の時代です。『第6回市民メディア全国交流集会 京都メディアフェス』は、様々な「私」の表現や物語を全国から持ち寄り、分かち合い、語り合う場を創造します。当日は、市民メディアをテーマとした有料の分科会やトークセッションだけでなく、映像祭やARTマーケット、お子様も楽しめる「情報を描く」ワークショップなど、初めて市民メディアに触れる方々にも気軽に参加いただける無料のプログラムもご用意しています。この機会に、あなたも情報と市民メディアについて考えてみませんか?

入場無料プログラム

下記プログラム

「映像のチカラが社会を動かす」及び「マスメディアと市民」は、どなたでも無料でご入場いただけます。

17:00-18:30 @講堂 (入場バス不要)

映像のチカラが社会を動かす
—市民メディアの可能性—

映画「ヒバクシャ—世界の終わりに」 「六ヶ所村ラプソディー」の監督として知られる鎌仲ひとみさん、NPO分野の教育・人材育成のエキスパートであり、日本一若者が集まるお寺、應徳院の住持として地域に開かれた寺院の実践に取り組む山口洋典さんと共に、市民メディアの可能性、また市民メディアが社会や私たちの暮らしや生き方にどう関わっていくのかについて、参加者も交えて議論します。

ゲスト

鎌仲ひとみ (映像作家、東京工科大学メディア学部准教授)

山口洋典 (きょうとNPOセンター常務理事、應徳院住持、同志社大学大学院総合政策科学研究科准教授)

主催:特定非営利活動法人
きょうとNPOセンター

13:00-16:30 @講堂 (入場バス不要)

マスメディアと市民

—その緊張関係と接点を見つめる—

マスメディアに対する市民の目は厳しく、視聴率競争が激化する中で、マスメディア自身の報道姿勢が問われる事件が起こったり、それに便乗して政府も介入を強めたりしています。しかし同時に、真摯に報道し続けるジャーナリストもまだ多数いることも事実です。関西の民間放送局に勤務する関係者が、個人の立場から、メディアと市民の接点について語り、参加者との建設的な議論を行います。

パネリスト

脇浜紀子 (読売テレビ編成局アナウンス部)

古住公義 (KBS京都アクセスクラブ)

小形正嗣 (月刊関西批評プロデューサー)

藤田貴久 (朝日放送報道局ニュース情報センター)

ほか

司会

隅井孝雄 (京都ノートルダム女子大学客員教授)

主催:ITコンソーシアム京都